

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		成果	コスト		
事務事業名	港湾施設の維持管理				連絡先	052-398-0503
目的	対象(誰・何を)	港湾施設			連携課	港営課、工事課、港湾工事事務所、施設事務所
	意図(どうい う状態に したいか)	適切な維持管理を実施します。			事業 期間	昭和36年度～
概要	港湾施設の使用状況を適切に管理し、施設に損傷等が生じた場合は緊急度に応じて補修等の実施に努めます。				根拠 法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例及び同 施行規則
令和元年度の実施予 定	①港湾施設使用許可申請書の受理②利用者調整③施設利用状況の確認(併せて損傷個所の確認)④利用者からの要望または施設損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を行います。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	港湾施設使用許可申請書の受理、利用者調整、施設利用状況及び損傷箇所の確認、港湾施設の補修を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	208,562	336,387	562,469	369,139	令和元年度より、事業費の考え方を見直したため事業費が増加しております。
人件費	千円	47,788	47,939	47,705	47,811	
合計	千円	256,350	384,326	610,174	416,950	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
損傷による使用停止 港湾施設の件数  (単年度管理型)	目標			0		管理施設のうち損傷により長期間使用停止せざるを得ない施設の件数	
	実績	0	0	0			
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
	目標						
	実績						
事業進捗状況(元年度)		順調・やや遅れ・遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	損傷による港湾施設の使用停止の件数は本年度0件で目標を達成できました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 施設の公共性の観点から、本組合の関与が必要不可欠です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境に適合しています。					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 港湾施設を適切に管理するという事務事業の目的は、国際・国内海上輸送機能の強化という施策達成に貢献するものです。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 損傷による港湾施設の使用停止は0件であり、成果は得られています。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 効率性の観点からは最小のコストとなっています。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	良好な港湾施設を保つには現在の事業規模を確保する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
施設の老朽化が進行しており、修繕に加えて大規模改修を行わないと利用者の要望に応えられないだけでなく、利用不可能な箇所も発生しうる状況です。			利用者の要望に応えるため、提供施設の改修等を計画的に実施していきます。